


































チャレンジ項目記入数

15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・社是が明文化され、毎週始めに社員全員で唱和し、社員は暗唱している。 ・経営目標やスローガンを定め社員に配布し周知徹底を図っている。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守については、自社のCSR(企業の社会的責任)実施基準の中で規定し、朝礼等でその都度その重要性について注意喚起している。 ・従業員満足度調査等を行い法令遵守の状況についても確認を行っている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・CSR実施基準に明記し、公正な競争の確保について社員に周知徹底している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・臭気や火気注意など事業活動に伴う近隣へのマイナスの影響等も把握している。 ・組織体制も整え、事業活動に伴う正負の影響に対応する担当者(主任・チーフ)又は責任者(課長)も明確にしている。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産の保護、侵害排除については就業規則、CSR実施基準で規定し、実践している。 ・重要な情報・データは、関係者以外が閲覧できない手立てを講じ制限をかけている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・CSR実施基準に明記し、顧客管理システム・情報共有システムを導入し、情報漏洩がないように総合企画室長が一括管理している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・営業部門を中心に随時ステークホルダーとの情報交換に取り組んでいる。 ・また、ステークホルダーとのやり取りを顧客管理システムに登録し、社内関係者で共有している。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・CO2排出削減や生態系への悪影響の防止の観点などから納入仕様書のチェックを行い、納入業者にも環境に配慮した製品の納入を促すなど日頃からサプライチェーン管理の徹底を図っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・顧客管理システム・情報共有システムを活用し、ベテラン社員から若手社員に事業ノウハウ、知識等が承継されるよう日頃から取り組んでいる。									8	9							17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・CSR実施基準にも明記し、雇用、教育、登用、福利厚生等で差別的取扱いがないようにしている。ハラスメントについては専門家を招き社員研修を行い、差別やハラスメントの対応窓口として総務課長を充てている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・CSR実施基準にも明記している。 ・安全衛生委員会を、月1回実施している。 ・専門家に依頼し、社員一人ずつに対しメンタルヘルスクアを年1回実施している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態に関わらず、同一労働に対しては同一賃金等の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業は基本的に行わないようにしている。 ・有給休暇の計画的消化に取り組み、社内目標を達成している。 ・男性の育休取得も奨励している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・社内の人材育成プロジェクトチームが人材育成計画を立て社内外で計画的に研修を実施している。 ・危険予知研修など外部研修に派遣し、経費補助を行っている。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎朝、朝礼に合わせてラジオ体操を実施している。 ・年1回健康診断、年2回有機溶剤検診を義務付け経費は会社負担としている。 ・社員一人ずつに対してメンタルヘルスクアを実施し、ホットラインを設けている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性、高齢者が勤務しているが、業務運営において性別、人種等で差別待遇などはない。社内の人事評価制度を確立し、性別や年齢等に関わりなく登用出来るようにしている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・コロナ禍の際は、コロナ対策責任者(総務課長)を決めていたが、現在も引き続き感染症対策、時差出勤、在宅勤務、ウェブ会議など新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・顧客管理、情報共有、スケジュール、人事評価制度システムをクラウド上でできるように構築し、業務の効率化に取り組んでいる。 ・社内資料等の電子化、ペーパーレス化に取り組んでいる。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4					8	9			12					

チャレンジ項目記入数

15


















分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環 境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得しており、廃棄物や有害化学物質は専門業者に委託し適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・県の簡易計算シートを活用し毎月エネルギーの使用量を把握している。 ・旧式の大型空調機器を高効率の小型空調機器に替えたり、夏場のグリーンカーテン設置など省エネ対策に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・県の簡易計算シートを活用し温室効果ガスの排出量を把握している。 ・旧式の大型空調機器を高効率の小型空調機器に変更したり、フォークリフト4台(ガソリン利用)をバッテリー車に変更している。また、社員に生産工程の見直しや省エネの周知徹底などでCO2排出量削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・工場敷地内の野菜畑や花壇、植栽帯の維持管理に取り組んでいる。 ・油性から水性塗料への転換割合を増やしたり、プラスチック容器から鉄容器に変更するなど環境に悪影響を及ぼさないよう取り組んでいる。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・年度目標として3Rを推進し、循環社会形成を掲げ、例えば廃液のリデュースや使用済み段ボール、廃材等の再利用、再生用紙や裏紙の使用に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・雨水を溜めて散水に活用したり、毎日の水の使用量を管理し節水に取り組んでいる。また、地球緑化の会の活動を通じ水源涵養の森づくりに取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境にできるだけ配慮する趣旨で、油性塗料から水性塗料製品の開発、割合を増やす取り組みを行っている。										9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・社員食堂では、工場敷地内の野菜畑で収穫した野菜を有効に活用している。また、食品ロスの削減のため管理表を作成し作りすぎを防止し、余った分は夕食に転用するなど工夫している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・工場敷地内にできるだけ緑地(野菜畑、花壇、植栽帯)を設け緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・日頃から社員に省エネの周知徹底を図るとともに、機械の冷却水の稼働方法の改善、見直しや旧式の大型空調機器を高効率の小型空調に変更すること等で月10万円程度の電気料金の削減を実現している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13			15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13			15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・塗料の容器をプラスチックから鉄に変更し、ビニール紐の再利用など、会社からプラスチックは出さない取り組みを行っている。												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 大谷塗料株式会社熊本工場

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

チャレンジ項目記入数15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・製品の安全確保の為、安全データシートを作成し、ラベルに危険有害性情報・注意書きを表記している。 ・相談窓口は本社に設置するとともに、製品に異常があれば本社から工場に確認する体制を整えている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事務所の階段に手すりを設けるとともに、「スベランデ」という塗料を開発し床に塗布しスリップ防止を図るなど業務環境の改善に取り組んでいる。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・社員食堂では、工場敷地内の野菜畑で収穫した野菜を有効に活用するとともに、地元産の米や産品を活用している。また、贈答品には熊本県産の産品の積極活用に取り組んでいる。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・食堂の床等で木質化を図っている。 ・事務所、研究棟内に、自社塗料で塗装した木材展示物を展示している。						7						12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・様々な社会問題解決に取り組んでおり、最近では抗菌、抗ウイルス塗料の開発を行い、SIAA(抗菌製品技術協議会)の認定登録及び表彰を受けている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域の神社仏閣の夏祭り等に協賛、支援を行っている。 ・地元市の花いっぱい運動や河川の清掃ボランティア活動に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・防災訓練を年4回実施している。 ・防災グッズの整備と防災備蓄を行っている。 ・ハザードマップを確認し、台風など災害時の緊急連絡体制を整備している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・地域消防団に加入し、地域の防災活動に参加している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・熊本県SDGs登録内容を中心に工場内で社員を対象に研修会を実施し、工場内の意識の浸透・向上に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・工場見学会を頻繁に実施するとともに、高校生や大学生のインターンシップの積極的受け入れに取り組んでいる。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・熊本県内の生徒、学生を毎年1名程度雇用している。 ・熊本県内の学校等にも、リクルート活動に取り組んでいる。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。